別記第１号様式（第３条関係）

県営住宅入居申込書

年　　月　　日

上越市長　　様

申込者　　郵便番号

住　　所

氏　　名

電話番号　自　宅

勤務先

下記のとおり県営住宅に入居したいので、新潟県営住宅条例第９条第１項(第52条において準用する第９条第１項)の規定により、関係書類を添えて申し込みます。

なお、この申込書の記載内容が事実と相違するとき、又は申込者（現に同居し、又は同居しようとする親族を含む。）が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第２条第６号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）であることが判明したときは、入居の決定をされず、又は取り消されても異議ありません。

また、申込者(現に同居し、又は同居しようとする親族を含む。)が暴力団員であるか否かの確認のため、警察本部に照会がなされることに同意します。

申込住宅	県営　　住宅　　特定目的等(　　)					
条例第８条第１項第２号又は第10条第４項該当事項	1　60歳以上	2　生活保護	3　中国残留邦人	4　配偶者暴力被害者等	5　引揚者	6　炭鉱離職者
	7　母子・父子	8　多子	9　公共的事業	10　帰国被害者等	11ア　犯罪被害者等（生計維持困難）	11イ　犯罪被害者等（居住困難）
	12ア　戦傷病者（　症）	12ア　原爆被害者	12ア　ハンセン病療養所入所者等	12ア　被災者	12イ　身体障害者（　級）	12イ　精神障害者（　級）
	12イ　知的障害者	12ウ　シックハウス症候群患者				

	続柄	ふりがな 氏　名	生年月日 (年齢)	職業	勤務先 所在地	年間所得額(円)	控除名 (控除額　円)
	本人		・　・ (　歳)				(　　)
		個人番号					
同居親族又は同居しようとする親族			・　・ (　歳)				(　　)
		個人番号					
			・　・ (　歳)				(　　)
		個人番号					
			・　・ (　歳)				(　　)
		個人番号					
同居外扶養親族等			・　・ (　歳)		住所		(　　)
			・　・ (　歳)		住所		(　　)

住宅の困窮状況	現在の居住状況
1　住宅以外の建物等又は危険な若しくは不衛生な住宅に居住している。 2　他の世帯と同居していて不便であるか、住宅がないため親族と同居することができない。 3　世帯構成に比べて住宅が著しく狭い。 4　自己の責めによらず立退きの要求を受け、適当な立退き先がない。 5　住宅がないために遠隔地通勤をしている。 6　収入に比べ著しく過大な家賃の支払をしている。 7　その他(　　)	1　住宅の種類 ・持家　・借家　・アパート　・間借　・寮 ・その他(　　) 2　住宅の規模 居室数　　室 畳数　　畳 3　家賃月額　　円 4　世帯人員　　人

暴力団員ではないことの確認

該当する場合は、□にレ印を記入してください。

□　申込者(現に同居し、又は同居しようとする親族を含む。)は、暴力団員ではありません。

条例第６条第１項第２号ア又はイ該当事項	1	60歳以上のみ	2	未就学児童あり	3	身体障害者（　級）	4	精神障害者（　級）	5	知的障害者	6	戦傷病者(症)	7	原爆被爆者	8	引揚者(引揚年月日・　・　)	9	ハンセン病療養入所者等	10	被災者

※　・住宅困窮要件　・収入基準

収入月額　(所得額　　－控除額　　)／12＝　　円　　判定　　適　・　不適

注　1　※印欄は、記入しないこと。

2　「条例第８条第１項第２号又は第10条第４項該当事項」欄及び「条例第６条第１項第２号ア又イは該当事項」欄は、該当する番号を○で囲むこと。

3　新潟県営住宅条例施行規則第３条第３項の規定に該当する場合は、添付書類の１、３及び５（添付書類の５にあつては身体障害者若しくは精神障害者であることを証する書類又は生活保護法による被保護者であることを証する書類に限る。）の添付を省略することができる。

添付書類：1. 住民票の写し　2. 住宅困窮を証する書類　3. 知事が指定する期間に係る収入額を証する書類　4. 申込者に婚姻の予約者がある場合は、婚姻の予約を証する書類　5. 条例第６条第１項第２号ア若しくはイ若しくは第２項、第８条第１項第２号又は第10条第４項のいずれかに該当する場合は、その事実を証する書類

別記第１号様式（第３条関係）

県営住宅入居申込書

記入例

年　月　日

上越市長　様

申込者　郵便番号　012-3456

住　所　上越市木田○丁目○番○号

氏　名　上越　太郎

電話番号　自　宅　０２５－○○○○－○○○○

勤務先　０２５－５２６－５１１１

下記のとおり県営住宅に入居したいので、新潟県営住宅条例第９条第１項(第52条において準用する第９条第１項)の規定により、関係書類を添えて申し込みます。

なお、この申込書の記載内容が事実と相違するとき、又は申込者（現に同居し、又は同居しようとする親族を含む。）が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第２条第６号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）であることが判明したときは、入居の決定をされず、又は取り消されても異議ありません。

また、申込者(現に同居し、又は同居しようとする親族を含む。)が暴力団員である場合は、[illegible]意します。

申し込む人全員分を記入する（控除や年間所得額含む）

申込住宅	県営　○○　住宅　○○号室　特定目的等(				
条例第８条第１項第２号又は第10条第４項該当事項	1　60歳以上	2　生活保護	3　中国残留邦人	4　配偶[illegible]	
	7　母子・父子	8　多子	9　公共的事業	10　帰[illegible]	(居
	12ア　戦傷病者（　症）	12ア　原爆被害者	12ア　ハンセン病療養所入所者等	12ア　被災者	身体障害者（　級）　12イ　精神障害者（　級）
	12イ　知的障害者	12ウ　シックハウス症候群患者			

	続柄	ふりがな 氏名	生年月日 (年齢)	職業	勤務先 所在地	年間所得額(円)	控除名 (控除額　円)
	本人	じょうえつ　たろう 上越　太郎	H1・1・1 (　31　歳)	公務員	上越市役所 上越市木田１丁目１番３号	○○円	(　　)
		個人番号					
同居しようとする親族又は扶養親族			・　・ (　　歳)				(　　)
		個人番号					
			・　・ (　　歳)				(　　)
		個人番号					
			・　・ (　　歳)				(　　)
		個人番号					
同居外			・　・ (　　歳)		住所		(　　)
			・　・ (　　歳)		住所		(　　)

住宅の困窮状況	現在の居住状況
1　住宅以外の建物等又は危険な若しくは不衛生な住宅に居住している。 2　他の世帯と同居していて不便であるか、住宅がないため親族と同居することができない。 3　世帯構成に比べて住宅が著しく狭い。 4　自己の責めによらず立退きの要求を受け、適当な立退き先がない。 5　住宅がないために遠隔地通勤をしている。 6　収入に比べ著しく過大な家賃の支払をしている。 7　その他(　　)	1　住宅の種類 ・持家　・借家　・アパート　・間借　・寮 ・その他(　　) 2　住宅の規模 居室数　　室 畳数　　畳 3　家賃月額　　円 4　世帯人員　　人

現在の状況を記入する

暴力団員ではないことの確認

該当する場合は、□にレ印を記入してください。

□　申込者(現に同居し、又は同居しようとする親族を含む。)は、暴力団員ではありません。

条例第６条第１項第２号ア又はイ該当事項	1　60歳以上のみ	2　未就学児童あり	3　身体障害者（　級）	4　精神障害者（　級）	5　知的障害者	6　戦傷病者（症）	7　原爆被[illegible]	月日 ・ ・　）	所者等

※　・住宅困窮要件　・収入基準

収入月額（所得額　　－控除額　　）／12＝　　円　　判定　　適　・　不適

チェックする

注　1　※印欄は、記入しないこと。

2　「条例第８条第１項第２号又は第10条第４項該当事項」欄及び「条例第６条第１項第２号ア又イは該当事項」欄は、該当する番号を○で囲むこと。

3　新潟県営住宅条例施行規則第３条第３項の規定に該当する場合は、添付書類の１、３及び５（添付書類の５にあつては身体障害者若しくは精神障害者であることを証する書類又は生活保護法による被保護者であることを証する書類に限る。）の添付を省略することができる。

添付書類：1. 住民票の写し　2. 住宅困窮を証する書類　3. 知事が指定する期間に係る収入額を証する書類　4. 申込者に婚姻の予約者がある場合は、婚姻の予約を証する書類　5. 条例第６条第１項第２号ア若しくはイ若しくは第２項、第８条第１項第２号又は第10条第４項のいずれかに該当する場合は、その事実を証する書類